



読字 原田 鏡

No. 793

2016/ 3/25

日中友好新聞

発行所
日本中国友好協会
〒110-0055 東京都千代田区
有明1-1-1 15072ビル

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:0861272-3010
郵便番号1100
01250-0-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8911
倉敷市連島中央1-8-4
(宮地方)
TEL/FAX:0861416-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rizhong.biz/>
メールアドレス
rizhong86@hotmail.co.jp



安法制の廃止と立憲主義の回復を求めるとおかやまいっぽんの会設立

―野党協力と候補者の一本化を求めて―

日中友好協会岡山支部 小林 軍治

はじめに

2月28日、岡山市九条の会連絡会(岡山市九条の会)、おかやまいっぽん、ハシワタシ、ママの会などが中心になって標記の会を設立しました。

この会は、2015年9月19日に安倍自公政権が行った、安全保障関連法案(戦争法)の成立を受けて、岡山県内でもじっとしておれない。なんとかしなければ。」とこの法案に反対する旨をヒザこんまり集まりです。

設立までの経緯

1月14日、岡山市九条の会は、昨年12月20日に結成された「市民連合」の趣旨に賛同し、岡山でも共同の運動を進めるための懇談会を開催しました。

その後ハシワタシなどと共同で呼びかけ、2016年参院選市民協力懇談会」を5回(第一回:1月24日、第二回:2月7日、第三回:2月14日、第四回:2月21日、第五回:2月28日)にわたって開きました。この懇談会には、国政選

左から、小林、伊東、榊原、大坂、宮本さん



挙で野党共闘を応援しようと考えて、ママの会、東日本大震災が起ころいおかやまへ避難・移住した人、小さな声を上げようと立ち上がった人、学者、宗教者など様々な人が集まって、今の政治を変えるためには何をすべきか協議しました。

その結果、2月28日に設立趣意書(資料一)を作成し、会を設立しました。趣意書の文言は、できるだけわかりやすい表題にすべく練り上げました。

三月七日の記者会見

会は3月7日、岡山市勤労者福祉センターで記者発表と会見を行いました。会見には、会の共同代表3人(榊原、大坂、宮本)と事務局2人(伊東、小林)が参加しました。取材は、新聞社7社、山陽、中国、時事通信、毎日、読売、赤旗、社会新報とテレビ3社、NHK、RSK、KSB)それ



右側、向こうから民主党の、柚木、黒石、江田、高橋

つかりと話しました。宮本さんは、政治家及び政党へ訴えとして「野党合意を歓迎している。岡山でも市民合意で一本化したい。」と述べました。

この今後について伊東さんは「市民の側から提案し、民主主義をつくり直さなければならぬ。」とし、私は「市民が政治に積極的に関わられるような運動にしたい。」と強調しました。

おわりに―各政党への要請行動―

3月9日に共産党、社民党へ、13日に維新の党(高井事務所)、民主党へそれぞれ、要請行動に行きました。提案内容は、①趣意書の第二の活動の目的への賛同、②岡山の四野党が候補者を一本化し、選挙協力をすること、③おかやまいっぽんと情報交換や意見交換の場を継続的に設けることです。各党から提案について賛同するとの回答をいただいた。

会としては、②について、候補者を擁立している民主党、共産党に対して、中央での五

野党合意に基づいて早急に話し合ってもらいたいと強調しました。同時に、会として、仲介の労を含め、一本化のために積極的に協力したいと話しました。

この会の設立について日中岡山支部は、5回の懇談会に宇野支部長と私が参加し、設立の呼びかけ人には竹内理事長も加わるなど、大きな役割を果たしました。今後の活動にも積極的に参加し、日中不戦は憲法9条を生かす道との立場でがんばりたいと思います。



右側、2人目維新の党の、高井さん

中国から来たお嫁さん

倉敷支部 田辺幸子

私のいとこは中国残留孤児（岡山県在住）です。

今年1月、いとこの父親、（私のおじ）が亡くなりました。いとこには3人の息子がおり、そのうち2人のお嫁さんが中国から来ています。今回、葬式、法事で初めてお嫁さんたちに会いました。

そのうちの1人が白いバッグを持っていました。まだ会ったばかりで言うのは勇気がいりましたが、これからのことを考え、葬式や法事には黒いバッグがいいですよ」と言いました。彼女は気持ちよく聞いてくれました。葬式は突然起きるので、日本の女性は黒服、黒バッグ、黒靴は常に用意していること、黒でも獣皮のバッグはダメなことなど話しまし

た。それがきっかけでいろいろ話げできました。日本に来て26年になるが、日本での葬式は初めてだったのです。国や地域で習慣が異なります。中国から来て、日本の習慣を教え

てくれる人、聞ける人がいないのかなと思いました。帰宅して、いとこが日本に永住帰国した時出版された本「祖国 孤児一家の春夏秋冬」を読み返しました。満州からの命がけの逃避行、日本鬼子としての中国での暮らし、実の親捜しの困難さ、それらに加え、帰国してからの日本政府の冷たさ！日本語のわからない中、日本国籍がなかなかとれず、経済的困難や偏見と闘ういとこ家族が本から見てとれました。それが

ら26年。成長した息子3人が仕事と家族に恵まれているのを知ることができ、安心しました。

しかし、日中友好新聞にも載っています。最近の中国への偏見がすごいです。裁判の頃は残留孤児の話題をよく聞きました。今の暮らしはどうかと気になります。中国から来た、かわいいお嫁さん、また会いましょう。再見。追記

中国残留孤児について「学習会」をします。ご参加ください。

講師 小林軍治さん（日中友好協会岡山支部 事務局長）

4月10日（日）10:00〜
ライブパーク倉敷

（憲法をくらしに生かす倉敷市民の会 主催）
問い合わせ 09065101121 田辺幸子

帰国者Aさんの介護（1）

松田葉子

私は裁判所の選任によって、数年前に70代の帰国者Aさんの成年後見人となりました。Aさんは独り暮らしでしたが、認知症のため徘徊したりお金の使い道を忘れることが増え、やがて急病で入院。行政の判断で成年後見人の申し立てをしました。

Aさんは長年日本にいます

が中国語のほうに流ちょうなので、月に一回の面会は中国人通訳のCさんが同行し、体調や要望を聞いています。Aさんは日本語を聞く力はあつてもしゃべる力は不十分なので、日本語での検査では実際より認知力を低く評価されているのではないかと感じます。ただ日常の介護で

は、病院の職員は言葉の分らない人にも同じように声をかけてくれるので、不満はあまりないようです。中国語で話す機会は月に一回の面会時だけです。中国語会話ができれば病気の進行を抑えられるのではないかと、Aさんは寝たきりで自分でラジコ等を操作する力もなく、相部屋なので音楽を流すこともできず、中国語に触れられない状況です。

つづく

【資料一】

おかやまいっぽん設立趣意書

第1 わたしたちの思い

- はじめに 2 「おかしい」と思っていること
 - 憲法とは何か―立憲主義―
 - 憲法の3つの原則
 - 安保法制が立憲主義違反であること
 - 安保法制を「可決」した過程に問題があったこと

3 わたしたちが目指すもの

第2 活動の目的

- 集団的自衛権行使を容認する(他国が攻撃されたときに日本が自衛権を行使できるとする)閣議決定の撤回
- 2015年9月に「成立」した安保法制の廃止

第3 活動方針

わたしたちは、第2に書いた目的を実現するために、次のような活動を行います。

- わたしたちの声と思いを政治の場に届けるための働きかけ
- わたしたちの声と思いに共感する人の輪を広げるための活動
- わたしたち自身が学び深めるための学習会や交流会の開催

【資料二】

市民のみなさんに言いたいこと

先月、絵本好きのママが中心になって絵本カフェを開きました。あるママが「平和ってすてきだね」という絵本を読んでくれました。沖繩の小学生が書いた詩です。一部だけ紹介します。

「いわつてなかな。

ほくは、かんがえたよ。

ねこがわらう。

おなかがいっぱい。やぎのんびりあるいてる。

ちようめいそうがたくさんはえ、よなぐにうまが、ヒビーンとなく。

「いわつていいね。

「いわつてうれしいね。」

この絵本を読むと、「平和」とは「あたりまえの日常を安心して過ごせること」「なんだな」と伝わってきます。

平和な日常を大事にしたいという気持ちは誰もが持っているものだと思います。それが損なわれる場合、政治に訴えるのはあたりまえのことではないでしょうか。

9月に国会で安保関連法案が成立させられそうになって

いたとき、長男に「どう思う？」と聞きました。すると、彼は「子どもの意見も聞いてくれたらいいのにな」と言いました。私たち大人こそちゃんと聞いて！と言わなくていいのでしょうか。

そして、聞いてほしいことを黙ってなくないんだよ」と権力から私たちを守ってくれているのが憲法だと学びました。

今、保育園に入れなくて、日常生活が成り立たなくなつたママやパパたちが怒りの声を上げています。私たちの日常は政治とつながっている。だから、声をきちゃんと聞いて安心して暮らせるようにしてほしいです。

きっと、自分に何ができるのかわからない、という方も多いと思います。

これから「おかやまいっぽん」では、私たちに何ができるのか、学んだり、意見を交わす機会を作っていきます。岡山のみなさん。政治にみんなの声が届くよう、ぜひ一緒に考え、アクションしていきましょう。

次回の新聞発送作業は
4月1日（金）午後1時半から
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。

石川 岡野 林 和 内 製
今 宇 小 真 竹 竹 坪 井